

後悔しない家づくりと、日本の住まい文化向上のために

インテリアアテンド資格は、住まい手が住宅のフロアと円滑なコミュニケーションを図るための共通言語を身につけようという主旨で、2013年に始まった。住みたい家の間取り図を描いて、図面から模型を作ってみる。壁紙や家具などもイメージ化し、家具店の回り方なども学ぶ。実際の住まいづくりで失敗しないために、家づくりリノベーションで仮想体験するのだ。

今回ご紹介する名古屋支部の3人は、インテリアコーディネーターや建築士として住まいづくりに関わってきたプロの側だが、資格を取得し、住まい手とのより円滑なコミュニケーションを図ると同時に、それぞれがインテリアアテンドの講座を開き、地域や従来の仕事との関わりの中で、住まい文化の向上に寄与している。

この資格を取ろうと思った理由は何ですか？

森本▼消費者の方に住まいづくりを理解してもらえらる点に共感し、この資格を広められたらという思いで取得を決めました。

資格活かします!

インテリアアテンド/名古屋支部長
森本智子さん

2013年11月に資格取得。インテリアコーディネーターとして活動しながら、ライフワークとしてプロダクトデザインも探究。大学の非常勤講師としても両分野の講義を受け持っている



資格のうち、インテリアセルフアテンド2級と1級の講座は、一般の方が住宅という大きな買い物をする際に、初めてで陥り易い失敗をしないように、疑似体験をしながら学びます。家作りを知らない初歩の方にこそ、特別な準備なく受講いただきたい講座です。

講座を開催する講師になるための、インテリアアテンド認定資格については、子育てや介護で仕事から遠ざかっている建築士やインテリアコーディネーターさんに、社会復帰の第一歩としてもご利用いただけるのではないかと思います。

大矢▼大学の同級生で同じ大学の講師仲間でもある森本さんから「目からウロコよ」と勧められました。もちろん仕事にも役立つと感じました。

後藤▼30年余り住まいや店舗のプラン・施工に携わってきた、ユーザーさんとのより早い段階での基本的なコミュニケーションの重要性を感じていたので、ちょうどよい講座だと思い取得しました。

■どのような場面で活かしていますか？

う堅苦しい考え方をせず、何にでも好奇心を持って取り組んでいます。

大矢▼住宅関連の新製品情報などはもちろん気にしていますが、現場でいただくお客様からの一言がありがたく、講座で役立つのではないかと常にアンテナを張るようにしています。

後藤▼講座の限られた時間の中で受講者さんに力を付けていただくため、話し方、進め方、心の準備などの大切さをお伝えしていますが、得手不得手は人それぞれなので、臨機応変に対応する力を磨くことでしょうか。カフェ・ギャラリーでも講座を開いていますが、コヒューブレイクには忌憚らないお話が聞けて、それが大変勉強になっています。楽しく学んでもらえるように、堅苦しくない明るい雰囲気作りを心がけています。

さらに社会に役立つために、今後どう取り組んでいきたいですか？

森本▼住まい手の方から「あの会社のスタッフは、インテリアアテンドを取得しているから安心して相談できる」と言われるよう、住宅関連の専門職以外のスタッフの方々も取得して、共通語を持っていたことが理想です。そうなるよう少しずつでも広めていきたいと考えています。ただし、押し付けにならないので、あくまでも消費者の選択肢の一つくらいにポピュラーにできたらというのが目の目標です。そのためには、名古屋支部のネットワークももっと広げる必要がありますね。

大矢▼現在、反抗期真っ只中の子供2人を育てながら、母と一緒に寝たきりの祖母の介護をしています。母、子育ても介護も、家づくりと同じで模範解答はないと考えています。介護や子育てを経験したからこそ気づくこともあり、悩みを抱えている方の解決の

インテリアアテンド/名古屋副支部長
大矢貴子さん

2014年1月に資格取得。設計事務所勤務を経て独立。一級建築士、整理収納アドバイザー2級の資格も持つ。大学の非常勤講師として手描きパースを担当



森本▼仕事の上では、従来も難しい用語は避けて、できるだけわかりやすく表現することを心がけていましたが、それでも十分ではないことを、講座を開催する度に感じています。わからない方の「どんなことがわからないか?」を知る機会を得られ、初心を維持する上で非常に役立っています。大学時代の同窓生を中心にもつくり集団を作って、展示やワークショップを行っています。そうした活動でも活かしていると思います。

大矢▼住まい手と作り手、どちらにも役立つ資格です。私も一級建築士としてお客様と話す際は、専門用語をできるだけ使わず、わかりやすい説明を心がけていました。資格取得後はさらに、パースやスケッチを多用し、お互いの思いを空間的に共有できる

インテリアアテンド/名古屋支部所属
後藤一恵さん

2014年5月に資格取得。インテリア事務所オフィスK3代表。カフェ・ギャラリー経営。インテリアコーディネーター、二級建築士、整理収納アドバイザー1級、ガーデニングインストラクター1級



よう努めています。講座を受講いただいた方からは、「もっと早くこの資格を知っていたら」と言われることが多いです。作り手側のゼネコンや工務店の方にも受講いただいております。「お客様と打ち合わせの際の参考になった」とも言われます。

お手伝いができるのではないかと感じています。後藤▼たくさんの方にこの講座を受講していただき、後悔しない住まいづくりに役立てていただくために、もっともっとPRしていきたくです。

■資格取得を考えている方へのメッセージや励ましをいただけますか？

森本▼晩ごはんを自炊するからレストランで外食するの考える際に、ブランド物の服を買うのが、自分でミシンを使って作るのかを決める際に、「ご飯の研ぎ方や、まつり縫い程度の基本を知らないと選びようがありません。住まいづくりの様々な選択肢においても同様で、基本を知っておくと安心です。ね。というところからスタートしている資格ですので、一般の人の住まい作りに関する、わからない、知らないという感覚が講座の中で活きてきます。また、「自身の住宅に対する嗜好・傾向と向き合う機会にもなりますので、身構えずに受講いただけたらと思います。

大矢▼専門的な知識がなくても「安心ください。一緒に住まいづくりを楽しみましょう!」そして、いっしょに日本の住まい文化を育てていきましょう。後藤▼住宅の新築、リフォームを考えている方は図面の見方、スケール感から学び、図面の書き方、コーディネートまでできるようにになります。それは後悔しない住まいづくりに役立ちます。プロの作り手にとって、何も知らなかった住まい手の方が知識や知恵を身に付けてくださることは、とてもうれしいことなのです。そして、すでにプロとして住まいづくりに関わっていらっしゃる方は、講師の資格を取って、住まいづくりに大切なノウハウをお伝えしていきます。困った時には仲間や協会が後押ししてくれそうですよ。

99%失敗しない「理想の家づくり」

65歳からのリフォームを家づくり

名古屋支部の3人も企画に関わった「理想の家づくり」と「99%後悔しない65歳からのリフォームを家づくり」(どちらも日本文芸社刊)。



講座の特徴の一つである、平面図からの模型作り。